

久山町人口ビジョン（案）

久山町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)

に対するパブリックコメント(意見募集)結果 について

久山町人口ビジョン(案)、久山町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)への意見を募集しましたところ、貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。皆さまからの貴重なご意見を真摯に受けとめ、総合戦略の着実な推進に向けて取り組んでまいります。

1. 実施期間 : 平成28年2月1日 ~ 2月29日
2. 意見募集方法 : ○町公式ホームページへの掲載
○役場への設置(閲覧)
3. 意見提出件数 : 2名(意見件数: 21件)

4. 意見の主な内容と対応状況

No	ページ及び項目	意見・提案の内容	意見等への対応について
1	総 論	○今回のパブリックコメントについて、町のホームページの新着情報にも掲載されず、住民に周知されているのか疑わしい。今後このようなことがないように。	○今回、周知は広報のみとなってしまう、申し訳ありませんでした。今後、ホームページを活用した際は、新着情報への掲載を行います。
2		○「H27年度からH31年度までの5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策、事業及び数値目標を設定する」とあるが、既に平成28年に入っており実質4年間の取組みとなる。優先順位を付けて戦術を練り実現してほしい。	○ご指摘のとおり、実質4年間の取組みとなるので、特に新規事業については、外部の意見も取り入れ、早期実現に向け実施していきます。
3		○戦略の各項目にある「主な取組み例」とは、現在計画中的なことか、単なる例示なのか。おそらくある程度検討中のことと思うが、具体的取組みは今後5年間の間にそれぞれ議論されるという理解で良いか。	○お見込みのとおりです。平成27年度中にこの戦略の骨格を作成し、新規事業については、平成28年度から実現に向け、外部の方々の意見を取り入れながら事業計画案を作成し、実施していきます。

(1)人口ビジョン(案)

No	ページ及び項目	意見・提案の内容	意見等への対応について
4	P21 ④社会保障などの財政需要、税収等の増減による地方公共団体の財政状況への影響について	○「高齢化のさらなる進行に伴い、社会保障関連に係る費用負担が拡大していくものと見込まれる中、財政の安定を保てるよう、一層の行財政改革推進が望まれる。」とあるが、総合戦略では全く触れていない。	○総合戦略は、人口フレームと人口ビジョンで推計する将来展望人口の乖離を軽減するため、都市計画および土地政策と併せ、人口対策に対応する施策の重点化を図るものです。 このことより、生産年齢人口も減少に歯止めをかけることができれば、税収および財政の安定を保てると考えています。 なお、具体的な行財政改革については、上位計画である総合計画で位置づけていますので、今回特に記載しておりません。
5	P22 ④時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	○「高齢化率は年々上昇し、将来推計では32%まで到達すると予測され、扶助費の増大などの財政的影響が懸念されます。また、高齢者単身世帯も増加しており、町民の支え合いによる、安全・安心な暮らしの確保はこれまで以上に重要になると予測されます。」とあり、P18に「財政の安定を保てるよう、一層の行財政改革推進が望まれます。」とある。しかし、総合戦略の中で、具体的な行財政改革推進は見えてこない。	

(2)総合戦略に関して

No	ページ及び項目	意見・提案の内容	意見等への対応について
6	P8 新たな企業を誘致し、雇用機会を拡大する	○物流の企業誘致だけではこれまで行われてきたものであり、新鮮味に欠ける。九大との医療面での連携を踏まえ、また機能性食品開発の方向性も踏まえ、医療機器や健康サービスなどの医療系産業や健康食品産業の誘致も検討してはどうか。	○これまでの生活習慣病予防健診などの実績から、医療系産業、健康食品産業分野の企業誘致は有効であると思います。頂きましたご意見は、今後検討していく中で参考にさせていただきます。
7	P8 起業家を育成し、新たな就業機会をつくる	○起業を希望する人には、インキュベーションとなるような施設を空き家を改修するなどして提供してはどうか。特に健康食品、サービス系であれば九大との連携が見込めるのではないかと。どのような業種の起業を伸ばしたいのかビジョンがあった方が支援もしやすく望ましい。活用する空き家候補は、例えばレスポアール向かいの町営住宅はどうか。	○ご提案のように、空き家などを活用し、久山町の環境を気に入り、小スペースでも起業できるような職種の方に来ていただきたいと考えておりますが、具体的に業種の提案までは至っておりません。提供できるスペースで可能な事業を支援したいと考えています。なお、レスポアール向かいの親和荘は、一部入居中ですので、現時点では計画にありません。

No	ページ及び項目	意見・提案の内容	意見等への対応について
8	P9 就農者を育成する	<p>○体験農園の拡充はオリジナリティがあり是非進めるべきと考える。田植えや稲刈りをしたがる若い世代なども多く、都市圏から一番近い農業体験の先進地として仕組み次第では体験農業を外国人を含めた観光の起爆剤にすることも可能ではないか。</p> <p>農家留学をする際には受け皿が重要である。そのような仕組みの構築には農家など民間の協力が欠かせない。古民家など改修によるゲストハウスなどの整備も含め、一体的に検討してほしい。</p>	<p>○就農支援のみならず観光にも間口を広げ、農業体験への機会をより多く与える事業となるよう、今後検討していく中で参考にさせていただきます。</p>
9	P10 6次産業化を推進し、収益性の向上を図る	<p>○農林産物の加工販売拠点の整備は、新しい施設にこだわる必要はなく、例えば既存の古民家を改修し古民家ならではの味わいのあるような施設(例えば茅の舎のような)でも久山らしく、魅力もあり望ましいのではないか。</p>	<p>○現在空き家調査を行っており、頂きましたご意見を参考に適当な物件があれば前向きに活用を検討していきます。</p>
10	P10 6次産業化を推進し、収益性の向上を図る	<p>○オリーブ栽培については多くの自治体に取り組んでいる中、本当に久山が差別化できるのか。出来上がる産品など出口を明確化し経営マインドを持って取り組んでほしい。</p>	<p>○久山町は「健康のまち」として知名度があるため、「健康のまち」がつくる健康に良いオリーブとして付加価値が付くのではないかと考えます。また、生活習慣病予防健診の蓄積データがあるため、オリーブを使った産品の検証はしやすく、特産品開発につながりやすいと考えています。</p>
11	P11 商工会の活動を支援する	<p>○商工会の仕事がプレミアム商品券しかないように読める。本来、商工会とは、起業や6次産業化に向けた人材育成や経営指導を担うべき。経営指導員の質の向上も含め抜本的に商工会を強化してほしい。</p>	<p>○現在、商工会と共同事業として創業支援等を行うなど、連携を強化しております。商工会の活動について、町が指導する事は困難ですが、頂いたご意見については商工会と共有し、支援が可能な部分については行っていきます。</p>
12	P12 町の魅力を発信する	<p>○前述のように農家留学にも利用できるゲストハウスの整備を進めてほしい。例えば猪野の千人館などを活用してはどうか。民泊は観光地がなくても体験を求める人向けに広がっており、体験農業とは親和性が高い。</p>	<p>○頂きましたご意見は具体的な取組みになりますので、今後検討していく中で参考にさせていただきます。</p>

No	ページ及び項目	意見・提案の内容	意見等への対応について
13	P14 町外者も体験できる久山方式の健診を活かした健康づくりサービスを開発する	○ふるさと納税返礼品としての健康プログラム提供は非常にユニーク。久山の食の体験や観光農園体験などと組み合わせる魅力を高めるにはどうか。	○久山町を訪れ、まずは久山の良さを知ってもらうきっかけとなるようなプログラムの提供を検討していきます。頂きましたご意見は具体的取組みになりますので、今後具体的事業を検討する際の参考にさせていただきます。
14	P14 健康のまちを発信する新たな魅力をつくる	○地域資源を活かした産学官連携を図るのであれば、九州大学等の産学連携部門の分室を置くなど抜本的な相談連携機能の強化を図ってはどうか。	○産学官連携については、今後あらゆる分野で必要になってくると考えます。しかし、産学官連携部署の創設につきましては、人事等も関係しますので、協議が必要となります。現時点では計画にありません。頂きましたご意見は、今後検討していく中で参考にさせていただきます。
15	P16 定住の受け皿となる住まいを確保する	○空き家実態調査の結果については是非広く周知し、空き家バンクのような取組につなげてほしい。久山の魅力には共感するものの新築を購入する余力のない層の取り込みも可能になる。	○平成27年度中に空き家調査を実施し、実態把握を行っています。今後持ち主に意向確認を行い、転入を希望される方の受け皿となるよう、制度構築を行います。
16	P17 子育て支援策を充実する	○学童保育の民間委託が始まる中、どのように質の高い保育を求めていくのか方向性を示してほしい。	○これまで久原・山田各々で行ってきた事業を統一的に行うことで、地域格差をなくし、公平公正な運営を図ります。また、子ども・子育て新制度の施行に合わせ、専門性を要する事業となったことから、ノウハウを持つ事業者による、指導員の人材育成と内容充実の実施を期待しています。
17	P20 町民の学習・スポーツ活動を充実する	○久山スポーツクラブの参加人口は減少しているのではないかと。若い世代や移住世代の取り込みを促進するような施策を検討してほしい。施設の最低限の整備も必要である。	○町主催のスポーツ行事への参加人数は若干ながら増加しています。今後も一層幅広い世代の方に参加していただけるような取組みを実施します。なお、施設整備につきましては、財政担当とも協議しながら計画的に進めていきます。

No	ページ及び項目	意見・提案の内容	意見等への対応について
18	P22 公共交通の維持と利便性の向上	○イコバスやJRの料金を上げてでも、篠栗駅とのアクセス向上を図り、通勤代替手段としての役割を高めていくべき。朝夕に便数を増やすなどの取組が求められるほか、九州運輸局に計画認定を受け、イコバスをタクシー的な運用にするのはどうか。	○既存の路線バス、コミュニティバスについては、平成29年度の見直し予定です。また、既存バス交通の利用促進や、観光利用などの観点から新たな交通手段の検討、実用化の可能性を検証していく予定です。ご意見はその際参考にさせていただきます。
19	P22 生活交通ネットワークを充実する	○「既存の路線バス及びコミュニティバス(イコバス)を町民の生活ニーズにあった生活交通として運行できるよう、交通体系の見直しを含め改善を図ります。」とあるが、高齢者単身世帯では自家用車に乗れない、イコバス1台では交通の利便性は大変悪く、抜本的な見直し必要。さらに統合幼稚園の送迎用にイコバス活用の話が教育課から出ている。	
20	P24 地域の担い手となる人材を育成し活用する	○地域活動に関心のある町民によるNPO立ち上げ等の支援を行ってはどうか。	○町民の活動が活発に行われるよう支援をしていきます。なお、NPO法人の立ち上げが必要であれば、状況を見ながら検討いたします。
21	P24 高齢者の人材活用機会を広げる	○シルバー人材センターの業務制約緩和(保険加入による保育園の送り迎えの一時代行等)を実施し、子育て支援との連携を行ってほしい。	○今後、高齢者の生きがいづくりや活躍の場を創出するために、請負業務を多様化していく中で、頂きましたご意見を参考に今後検討させていただきます。